

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (令和3年度実績)

提出区分	実績	整理番号	5	課題区分	C	
横断的な課題	地理的優位性を活かした移住の促進と二地域居住の探求					
地域重点政策	地理的優位性を活かした移住の促進と二地域居住の探求					
実施機関	佐久地域振興局			担当課	所属	企画振興課
事業名	佐久地域の移住スタイル発信事業				電話	0267-63-3132
					E-mail	sakuchi-kikaku@pref.nagano.lg.jp
事業の概要等	目的 (目指す姿)	佐久地域での多様な暮らし方の提示や特色ある取組に関する情報を発信することで、移住の促進及びつながり人口の増加を図る。				
	現状と課題	<p>○佐久市は首都圏から良好なアクセス環境にあり、信州リゾートテレワークのモデル地区に選定されている佐久市及び軽井沢町や、社会福祉型テレワークに取り組む立科町など、コロナ禍で需要が高まっているテレワークの推進の力を入れる市町村が存在する。</p> <p>○大日向小学校や軽井沢風越学園など特色ある教育を行う学校が設立されるとともに、北相木村の山村留学、南相木村の親子留学など自治体単位でも特色ある教育が行われている。</p> <p>○地域ごとに多様なライフスタイルが存在していることや、生活圏が広域的であることから、市町村を超えた取組を行うことで多様な選択肢を示すことができる。</p>				
	内容 (変更後の内容)	<p>○佐久地域移住・教育オンラインセミナーの開催 開催日: 令和3年7月31日(土) 参加団体: 教育関係3団体、4市町村 先輩移住者: 3名(学校保護者等) 内容: 参加団体のPR、先輩移住者体験談及び質疑応答</p> <p>○佐久地域テレワークオンラインセミナーの開催 開催日: 令和4年2月26日(土) 参加団体: 小諸市、佐久市、立科町、軽井沢リゾートテレワーク協会 ゲストスピーカー: 5名(コワーキングスペースオーナー等) 内容: 市町等の取組や施設紹介、ゲストスピーカーによるトークセッション及び質疑応答</p>				
事業期間	令和3年4月 ~ 令和4年3月					
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考		
	佐久地域移住・教育オンラインセミナー	豊かな自然、首都圏からの利便性、教育の多様性という佐久地域の特色を活かし、自然の中で子育てをしたいという層をターゲットとしたセミナーをオンライン形式で開催する。	351,400			
	佐久地域テレワークオンラインセミナー	テレワークの実践と移住促進のため、佐久地域の魅力と、専用施設等のテレワーク環境を紹介する、アフターコロナを見据えた新たな働き方に対応したオンラインセミナーを開催する。	358,800			
	合計		710,200			
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況	
	セミナー参加者のアンケート満足度		8割以上	8割以上	● 達成	
	セミナーへの参加者数		15名	28名/36名	○ 一部達成	
					○ 未達成	
事業実績・成果	【佐久地域移住・教育オンラインセミナー】 ○全国から28名(組)の参加者があり、佐久地域の魅力や教育団体の特色を広く知ってもらうことができた。 ○事後アンケートでも「とても満足」「満足」の割合が100%で目標値を超える満足度を得られた。 ○佐久地域の先輩移住者3名に登壇いただき、移住体験者の生の声を届けることができた。					
	【佐久地域テレワークオンラインセミナー】 ○全国から36名(組)の参加者があり、コロナ禍における佐久地域での新たな働き方の可能性を広く知ってもらうことができた。 ○事後アンケートでも「とても満足」「満足」の割合が88%で目標値を超える満足度を得られた。 ○佐久地域でテレワークやワーケーションに関わる5名にゲストスピーカーとしてご登壇いただき、佐久地域におけるテレワークやワーケーションの現状や実践等、生の声を届けることができた。					
今後の方向性	オンライン開催により、場所にとらわれることなく全国から参加いただいたとき、オンライン開催による可能性を実感できた。今後は、オンラインと対面のハイブリッド開催等も視野に、引き続き地域市町村等と連携し、佐久地域への移住に興味を持ってもらえるようなセミナー等を開催していく。					